　（案）

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

褥瘡予防エアマット等消毒業務委託契約書

委託者 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（以下、甲という）と受託者○○○○（以下、乙という）との間に次のとおり契約を締結する。

（目的）

1. 甲は、「沖縄県立南部医療センター・こども医療センター褥瘡予防エアマット等消毒業務」（以下、本業務という）を乙に委託し、乙はこれを受託する。本業務は、甲が正常な状態で使用でき得るように消毒を行うものとする。

２　甲は、乙に対し本業務の対価として委託料を支払う。

３　乙は前項の業務を誠実に履行し、甲は乙の業務履行に必要な協力を行うものとする。

４　定めのない事項については、甲乙協議のうえ定めるものとする。

（契約期間）

1. 本業務の契約期間は、契約締結日　から　令和８年３月31日までとする。

２　契約を締結する日の属する年度の翌年度以降において、本契約に係る歳出予算に減額又は削除があった場合、甲は契約の一部又は全部を解除することができるものとする。

（報告）

第３条　乙は、甲から要求があった場合には、甲の定める方法、様式にて本業務の遂行状況に

関する報告を行うものとする。

（委託料）

第４条　甲は、本業務に対する委託料は別添単価表のとおりとする。

* 消費税額は消費税法第29条及び地方税法72条の規定に基づき契約金額に100分の10を乗じて得た金額である。なお、契約期間中途において消費税等の率が改正された場合には、甲乙協議の上、改正後の税率により定めるものとする。

（契約保証金）

第５条　契約金額の100分の10以上とする（沖縄県病院事業局財務規程第133条第２項のいづれかに該当する場合は免除とする）

（その他の費用負担）

第６条　甲が委託業務に影響を及ぼす変更を加えたときは、甲乙協議の上、甲は別にこれに相

当する費用及び委託料を乙に支払うものとする。

（支払等）

第７条　甲は、乙から適法な支払請求書を受理した日から30日以内にその代金を乙に支払う

ものとする。ただし、特別な理由がある場合はこの限りではない。

　　２　支払いは月払いとし、乙は月末で締め、請求書を翌月10日までに甲へ提出するものと

する。

３　甲の責に帰すべき事由により契約代金の支払が第１条に定める支払期日までに支払わ

れなかったときは、乙は、支払期限の日の翌日から起算して支払いする日までの日数に応じ、支払遅延金額に対し、沖縄県財務規則第109条に規定する割合で計算した金額を遅延利息として請求することができる。ただし、風水害等その他甲の責に帰し難い事由による支払遅延に対してその期間は、遅延利息を支払う日数に算入しないものとする。

（乙に対する損害賠償）

第８条　甲は、業務の遂行上において、乙の責に帰すべき事由により甲に損害を与えた場合に

は、乙に損害賠償請求を行うことができる。

（契約の解除等）

第９条　 甲又は乙は、相手方に次の各号に掲げる事由の一が生じたときにはなんら催告なし

に直ちに本契約を解除し、被った損害の賠償を請求することができる。

1. 重大な過失または背信行為があったとき。
2. 支払いの停止があったとき、又は仮差押、競売、破産、会社整理開始、特別清算開始の申立を受けたとき。
3. 手形交換所の取引停止処分を受けたとき。
4. 公租公課の滞納処分を受けたとき。
5. 前各号に掲げるものの他契約条件に違反すると認められるとき。

２　甲又は乙は、栢手方の借務不履行が期間を定めてした催告後も是正されないときは本契約を解除し、被った損害の賠償を講求することができる。

３　本条の規定に基づき相手方から契約の解除を受けた者は、損害が生じることがあっても相手方にその損害を請求することはできない。

（秘密の保持等）

第10条　乙は業務上知り得た甲の業務上の秘密を外部に漏らし、又は他の目的に使用してはならない。

（権利義務譲渡の禁止）

第11条　乙は甲の事前の書面による承諾を得ることなく本契約によって生じる一切の権利、

義務の全部または一部を第三者に譲渡し、またはこれを承継させ、あるいは担保に供してはならない。

（合意管轄）

第12条　契約履行に関し紛争が生じたときは、公正な第三者を選定し、当事者と協議解決を図

るものとする。

（協力義務）

第13条　甲は乙に対し、本業務を実施するために必要な資料の提出その他の協力を誠意を持

って行うものとする。

（現場従事者及び責任者）

第14条　乙は、業務現場において直接業務に従事する者（以下「現場従事者」という。）及び

現場従事者を指揮監督その他業務の遂行に必要な事務をつかさどる責任者（以下「責任者」という。）を定め、書面をもってその氏名等を甲に通知しなければならない。これを変更した場合も同様とする。

２　甲は、業務履行に関する注文、指示等は前項の責任者に対して行うものとする。

３　乙は、現場従事者及び責任者に業務の遂行に必要十分な技能を修得させ、業務の遂行に万全を期するとともに風紀、衛生及び規律の維持に責任を負い、健康管理に努めなければならない。

４　乙は、現場従事者及び責任者に乙の定める制服を着用させるとともに氏名を明示させ、乙の従業員であることを明確にするものとする。

５　甲は、円滑かつ適正な業務遂行上、不適当と認める現場従事者及び責任者がいる場合、乙に改善を求めることができるものとし、乙は、この場合速やかに是正その他必要な措置を講じなければならない。

（業務遂行の計画及び報告）

第15条　乙は、この契約に関する実施計画を策定し、計画的に業務を実施しなければならない。

２　乙は、実施結果を甲に報告し、業務の完遂を確認し合うものとする。

（業務の調査等）

第16条　甲は、必要と認めるときは、乙に対して業務の処理状況について調査し、又は報告を求めることができる。

（改善命令）

第17条　甲は、乙が実施する業務の内容又は管理運営が不適当と認めたときは、その都度必要な改善を乙に求めることができる。

（法令上の責任）

第18条　乙は、現場従事者及び責任者に対する労働関係法、その他法令上の一切の責任を負うものとする。

（暴力団等の排除）

第19条　甲は、次項第1号の意見を聞いた結果、乙が次の各号のいずれかに該当する者（以下「暴力団等」という。）であると判明したときは、特別の事情がある場合を除き、契約を 解除するものとする。

(1)　沖縄県暴力団排除条例（平成23年条例第35号）第2条1号に規定する暴力団

(2)　沖縄県暴力団排除条例（平成23年条例第35号）第2条2号に規定する暴力団員

２　甲は、必要に応じ、次の各号に掲げる措置を講じることができるものとする。

(1)　乙が暴力団等であるか否かについて沖縄県警察本部長に意見を聞くこと。

(2)　前号の意見の聴取により得た情報を、他の契約において暴力団等を排除するための措置を講ずるために利用すること。

（履行不能の場合の措置）

第20条　乙は、天災その他不可抗力により、その責めに帰することができない事由により契約の全部又は一部を履行することができないときは、甲の承諾を得て、当該部分についての義務を免れるものとし、甲は当該部分についての請負代金の支払を免れるものとする。

（再委託の制限）

第21条　乙は、契約の全部の履行を一括又は分割して第三者に委任し、又は請け負わせることができない。ただし、乙は甲の承諾を得たうえで、保守契約業務を第三者に再委託することができる。

（協議）

第22条　この契約の履行について、疑義が生じた場合には、甲乙双方協議の上、これを決め

る。

（遵守事項）

第23条　前各条のほか、この契約の履行については、甲乙ともに関係法令を誠実に遵守する。

上記契約の締結を記すため、本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保管する。

令和　　年　　月　　日

（甲）沖縄県島尻郡南風原町字新川１１８番地の１

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

院長　　福里　吉充 印

（乙）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 印